

候補者の企業研究が「検索」から「AI への質問」へー 「MyTalent Brand」、採用サイトを AI-Ready 化する 「LLMO（AI 検索最適化）対応」を開始

～専門知識やサイト改修不要、企業の一次情報を生成 AI が参照しやすい状態に～

株式会社 TalentX（本社：東京都新宿区、代表取締役社長：鈴木 貴史、証券コード：330A、以下「当社」）は、AI ネイティブ採用プラットフォーム「MyTalent Platform」の採用ブランディングサービス「MyTalent Brand」において、企業の採用サイトや記事を生成 AI が参照・理解しやすい状態に整える「LLMO（AI 検索最適化）対応」を開始いたしました。

生成 AI の普及により、人々の情報収集は「検索エンジンで Web サイトを探す」ことから、「AI に質問して要約された回答を得る」スタイルへと変化し始めています。Google の AI 検索機能「AI Overviews」は、2026 年 5 月時点で月間利用者数が 25 億人を超えるなど（※1）、検索体験そのものの AI 化が進んでいます。これからの採用活動においても、検索結果の上位表示を目指す従来の SEO だけでなく、生成 AI が自社の公式情報を正しく参照・理解しやすい状態（AI-Ready 化）をつくる LLMO が重要になります。今回の対応により、「MyTalent Brand」をご利用の企業様は、専門知識や追加のサイト改修を必要とせず、通常通りコンテンツを発信するだけで、自社の採用情報を生成 AI が参照しやすい状態に整えることが可能になります。

※1：出典：Google「Google I/O 2026: Sundar Pichai's opening keynote」(<https://blog.google/innovation-and-ai/sundar-pichai-io-2026/>)

MyTalent Platform
MyTalent Brand

採用サイトを、 AI-Ready に。

LLMO（AI検索最適化）対応開始
企業の一次情報を生成AIが参照しやすい状態へ



■実装の背景

● 情報収集の起点が「Web 検索」から「AI 検索」へ

これまで人々は、検索エンジンにキーワードを入力し、検索結果に表示された複数の Web サイトを比較して情報を収集してきました。しかし、生成 AI の普及によって「自分に合った選択肢を教えてほしい」「違いを比較してほしい」と AI に直接質問し、複数の情報を整理・要約された回答を得る行動が広がっています。この変化は従来の検索エンジンにも及んでおり、Google の AI 検索機能「AI Overviews」は月間利用者数が 25 億人を超え（※1）、200 以上の国と地域で提供されています（※2）。候補者による企業研究においても、生成 AI に対して以下のような質問を行い、企業理解を深める場面が増加していくと考えられます。

- ・ この会社の事業上の強みは何か
- ・ 競合企業との違いは何か
- ・ どのような企業文化なのか
- ・ どのような人材が活躍しているのか
- ・ 自分の経験や志向に合っているか

企業と候補者の最初の情報接点は、従来の採用サイトや求人広告から「AI が生成する回答」へと広がり始めています。

※2：出典：Google「Alphabet Q2 2025 Earnings Call」 (<https://blog.google/company-news/inside-google/message-ceo/alphabet-earnings-q2-2025/>)

● 採用サイトにも、SEO だけでなく「LLMO」が重要に

これまで企業は、自社の採用情報を届けるため SEO に注力してきました。しかし AI 検索時代においては、候補者が採用サイトを訪問する前に、AI の回答を通じて企業像を形成する可能性があります。

自社の採用サイトが AI にとって取得・解釈しにくい構造であった場合、最新の公式情報が参照されず、古い情報や第三者の意見を中心とした回答が生成されてしまうリスクがあります。これからの採用サイトには、人間に分かりやすいだけでなく、生成 AI にとっても参照・理解しやすい「AI-Ready」な情報設計が求められます。当社は、生成 AI が企業の一次情報を参照しやすい環境を整える LLMO を、AI 時代の採用ブランディングにおける新たな基盤と位置づけ、本機能を実装しました。

● AI が正しい企業理解を支え、人間は深い対話に集中する

当社が実施した調査によれば、AI 時代に候補者が採用担当者に最も期待する対応として「自分を深く理解した対話」（40.1%）が最上位に挙げられました（※3）。候補者が選考前から企業の事業や仕事内容について正確な情報を得ておくことは、その後の面接や面談をより深く本質的なものにするために重要です。AI を通じた情報収集の段階で公式情報を正しく届けることで、採用担当者は画一的な会社説明に時間を割くことなく、候補者一人ひとりの価値観やキャリアに寄り添った対話に注力できるようになります。本機能を通じて、AI と人間の強みを掛け合わせた良質な候補者体験の実現を支援します。

※3：出典：株式会社 TalentX「採用活動における AI 活用に関する実態調査 2026」（調査期間：2026 年 4 月 28 日、調査対象：従業員数 500 名以上の会社で働く人事担当者・人事責任者（213 名）／社会人 2 年目以上かつ転職を検討されている中途採用候補者（221 名）、調査方法：インターネット調査）

■「LLMO（AI 検索最適化）対応」の詳細

「LLMO（AI 検索最適化）」とは、生成 AI が企業の公式な一次情報を参照・理解しやすいよう、Web サイトやコンテンツの情報構造を最適化する取り組みです。「MyTalent Brand」では LLMO に必要な技術的対応をシステムに標準搭載しているため、企業側に専門知識がなくても、採用情報を AI-Ready な状態に保つことができます。

1. 生成 AI クローラーへの対応

主要な AI クローラーが採用サイトへアクセスできるよう、システム側で自動的に巡回許可を設定します。個別の設定作業は不要で、通常通り発信するだけで生成 AI がコンテンツを取得しやすい環境が整います。

2. 採用情報を構造化データに整理

記事や求人情報の発信元、公開日、更新日などを AI が識別できるよう、情報を規則的な形式（構造化データ）に整理して提供します。これにより、公式情報であることや情報の鮮度を AI が正確に判断しやすくなります。

3. AI が取得・解釈しやすいページ配信

通常のブラウザでは表示されていても、AI クローラーには本文が読み取れないケースがあります。

「MyTalent Brand」では、採用ページや社員インタビューの本文を、AI が確実に取得・解釈できる最適な形式に変換して配信します。

4. 追加作業やサイト改修は一切不要

技術的な対応はすべてシステム側で一括処理するため、企業側での新たな設定やサイト改修は不要です。採用サイトのデザインや操作性も一切変わらず、従来通りの運用で AI-Ready な状態を実現できます。

■本機能が提供する価値

「MyTalent Brand」をご利用の企業様は、本機能により次のような AI ネイティブ時代の採用ブランディングを実現できます。

- 専門知識やサイト改修不要で、既存の採用コンテンツを AI-Ready 化
- 企業が発信する最新の一次情報を、生成 AI が参照しやすい環境に構築
- 古い情報や第三者情報のみで企業像が形成されるリスクの低減
- SEO 対策に加え、AI 検索を前提とした新たな候補者接点の創出
- 正確な事前理解を促すことで、その後の対話や相互理解を深化

なお、本機能は、生成 AI による特定の回答や引用、検索順位を保証するものではありません。企業の公式な採用情報を、生成 AI が取得・参照しやすい技術的環境に整えることを目的としています。

■日本初、AI ネイティブな統合型タレントアクイジションプラットフォーム「MyTalent Platform」について

日本初[※]

統合型タレントアクイジション
プラットフォーム

 MyTalent Platform

 MyTalent CRM

 MyTalent Hire

 MyTalent Brand

 MyTalent Refer

 MyRefer



※自社調べ（2026年3月、日本国内における「統合型タレントアクイジションプラットフォーム」として）

「MyTalent Platform」は、持続的な優秀人材の獲得をオールインワンで実現する、日本初（※4）のAI ネイティブな統合型タレントアクイジションプラットフォームです。採用 CRM を基盤に、ブランディングからタレントプール、リファラル、候補者管理にいたるすべての機能を高度に統合。AI を単なる効率化ツールではなく、個別最適化された候補者体験（CX）を設計する戦略的中核エンジンとして機能させ、集客から関係構築、選考、採用、そして入社後の活躍までを一気通貫で支援します。

その根幹となる「AI ネイティブ採用」のコンセプトは、「AI はつながりを駆動し、人間はエンゲージメントを」。AI が事務作業やマッチング判断を自律的に担うことで、採用担当者は候補者一人ひとりの価値観に寄り添う「個別最適化した関係構築」や、自社の魅力を深く伝える「魅力付け」、そして組織の未来を左右する「最終的な意思決定」といった、人間ならではの本質的な業務に専念できます。これは単なる業務効率化を超えた、企業の未来を創るための「投資」です。

（「MyTalent Platform」サービスサイト：<https://mytalent.jp>）

※4：自社調べ（2026年3月、日本国内における「統合型タレントアクイジションプラットフォーム」として）

【会社概要】

社 名：株式会社 TalentX（証券コード：330A）

所在地：〒162-0825 東京都新宿区神楽坂 4-8 ONEST 飯田橋スクエア G 階

代 表：代表取締役社長 鈴木 貴史

設 立：2018 年 5 月 28 日

会社 HP：<https://talentx.co.jp>

「MyTalent Platform」サービスサイト：<https://mytalent.jp>

<報道関係者からの問い合わせ先>

株式会社 TalentX 広報担当者

TEL : 03-4500-2007 FAX : 03-4400-2859 E-mail : pr@talentx.co.jp